「ど」で始まる語彙辞典

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「ど」で始まる語彙辞典 4

おわりに 10

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「ど」で始まる語彙辞典

どう‐かん【動感】
ある物がいかにも動いているように感じられること。ものが動いているという感じ。「―にあふれたタッチ」

同期(どうき)を取(と)・る
二つまたはそれ以上の現象が、同時刻に起こるように調整する。また、コンピューター内の複数のデータを一致させる。

どう‐きん【同衾】
［名］(スル)
一つの夜具に一緒に寝ること。男女関係についていうことが多い。ともね。

どう‐ぎ【道義】
人のふみ行うべき正しい道。道理。「―にもとる行為」「―的責任」

どうぎ‐てき【道義的】
［形動］
道義に関するさま。人の踏み行うべき正しい道に関するさま。「―に許されない行為」

どう‐こく【慟哭】
［名］(スル)
悲しみのあまり、声をあげて泣くこと。「訃報に接して―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

どう - しゅ【同趣】
おもむきを同じくすること。また、そのおもむき。「―の作品」

同日(どうじつ)の論ではな・い
差が大きくて同じ扱いはできない。同日の談ではない。「技術面において二人は―・い」

どう - ちゃく【撞着】
［名］(スル)
① つきあたること。ぶつかること。
② つじつまが合わないこと。矛盾。「話の前後が―する」「自家―」

どう - てい【道程】
① ある地点に着くまでの距離。みちのり。行程。「一日の―」
② ある境地・状態になるまでの時間。過程。「完成までの―」

どう - どう
［副］
① 大量の水が激しく流れる音を表す語。「―と落ちる滝」
② 波が激しく打ち寄せる音や、風が激しく吹きつける音を表す語。「―と森を吹きぬける風」

堂(どう)に入(い)・る
《「堂に升(のぼ)りて室に入らず」から》
学問や技芸がすぐれて、深奥をきわめている。また、技術的に熟練していて、身についている。「―・った演技」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

どう - ぶるい【胴震い】
［名］（スル）
寒さや恐れ・興奮などのために全身がふるえること。「緊張のあまり―する」

どう - もく【瞠目】
［名］（スル）
驚いたり感心したりして、目をみはること。「―すべき成果」

ど - き【怒気】
怒った気持ち。怒りを含んだようす。「―を帯びた顔付き」

どく - け【毒気】
① 毒の成分。毒を含んだ気。どっき。
② 人の気持ちをひどく傷つけるような雰囲気。また、悪気。「―を含んだ言葉」

毒気（どくけ）に当てら◦れる
非常識な、また、予想外な相手の行動や話に呆然（ぼうぜん）とする。「まくしたてられて、すっかり―◦れる」

毒気（どくけ）を抜か◦れる
びっくりさせられて呆然（ぼうぜん）となる。ど肝を抜かれる。「―◦れて声も出ない」

どくご - かん【読後感】
本などを読んだあとの感想。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

どく - づ・く【毒突く】
［動カ五（四）］
相手に向かってひどい悪口を言う。ひどくののしる。「腹を立ててさんざん―・く」

毒(どく)にも薬にもならない
害もなく益もない。じゃまにもならないが、たいして役にも立たない。

どく - ひつ【毒筆】
人を傷つける目的で、悪意をもって書くこと。また、その文章。

どく - りょう【読了】
［名］（スル）
すっかり読みおえること。「全巻を―する」

毒(どく)を吐(は)・く
嫌みを言う。相手のことをけなす。毒づく。「平気で―・く人」

どし - がた・い【度し難い】
［形］［文］どしがた・し［ク］
済度(さいど)し難い。救いがたい。道理を言い聞かせてもわからせることができない。「縁なき衆生(しゅじょう)は―・し」「―・いわからずや」

土砂(どしゃ)をかけたよう
《土砂加持を行った砂をかけると、硬直した死体も柔らかになるというところから》
態度が急に軟化するさま。ぐにゃぐにゃになるさま。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

ど - ちょう【怒張】
［名］（スル）
① 血管などが、ふくれること。「怒りで額の血管を―させる」
② 肩や筋肉などを、いからして張ること。

ど - はずれ【度外れ】
［名・形動］
一定の程度・限度をはるかに越えていること。なみはずれていること。また、そのさま。「―な（の）強さで試合に勝つ」

どほう - がかい【土崩瓦解】
［名］（スル）
土や瓦がばらばらに崩れ落ちるように、物事が根底からくずれてしまうこと。

どら - ごえ【どら声】
太くて濁った声。濁った大声。「―を張り上げる」

泥（どろ）のように眠・る
正体もなく眠り込んでいるさまにいう。「長旅に疲れはて―・る」

どろ - ぶか・い【泥深い】
［形］［文］どろぶか・し［ク］
田や沼などの底に泥が厚く積もっているさま。「この辺りの田は―・い」

泥（どろ）を被（かぶ）・る
不利を覚悟の上で役目を引き受ける。「一人が―・って騒ぎを収める」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

泥(どろ)を吐(は)・く
問い詰められて、隠していた罪状を白状する。「厳しい取り調べに、ついに―・く」

どん - じゅう【鈍重】
［名・形動］
動作や物事に対する反応がにぶくてのろいこと。また、そのさま。「―な足運び」

どん - ま【鈍麻】
［名］(スル)
感覚がにぶくなること。「神経が―する」

どん - ま【鈍磨】
［名］(スル)
すりへって鋭くなくなること。「包丁が―する」

どん - りん【貪吝】
［名・形動］
欲が深くてけちなこと。また、そのさま。たんりん。

どん - わん【鈍腕】
［名・形動］
物事を処理する能力が劣ること。腕前のにぶいこと。また、そのさま。「―な指揮官」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　↓　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.